

## 地域住宅生産者グループ

## “ふくしま転生” チーム

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
“ふくしま転生”の家	県北（福島市）・県中（郡山市）

## グループの特徴とメッセージ

福島においては、いつ果てるかわからない難問を抱え、しかも若い世代のふるさと放棄の流れは止まらない。汚染された土地の上に夢を描けるのか？しかし震災から1年をむかえ見えてきたことがある。それは福島で生き抜く企業が黙々とがんばっている姿だ。私達はそんな仲間になにを提案できるか考え、“ふくしま転生”の家を提示した。ふくしまが生き抜くのは簡単ではない。ふくしまを一から作り直す覚悟をもとめられている。その意味で“転生”する意志をコンセプトとした。私たちは形のプロトタイプを求めない。あくまで“転生”するという意志を共通認識とし、作業をする。形は様々だが生き抜こうという思いは共有するという作り方を目指す。

5

## グループの基本情報

グループ名称	“ふくしま転生” チーム
所在地	福島県郡山市土瓜2-2-12
結成年月	2012年3月
グループ形態	任意団体
主たる業態	設計
グループ構成 ※各事業者名 は別紙	合計33社 原木供給 : 2社 製材 : 2社 建材流通 : 3社 プレカット : 1社 設計 : 7社 施工 : 10社 その他 : 8社
代表者名	(有)村井 淳建築設計事務所 代表 村井 淳
主な受賞歴・ 活動内容等 (※グループ内構 成員受賞歴)	<ul style="list-style-type: none"> <li>三春町営住宅コンペ優勝、実施設計</li> <li>三春建築賞受賞</li> <li>通産省、省エネ住宅コンクール入選</li> </ul>

## 地域型復興住宅の主な工法・価格帯

主な構造・工法	木造軸組工法
価格帯	1000～1,500万円
価格の基準面積	100㎡
価格に含まない 項目	屋外工事費、外構工事費、 設計料、諸手続費

\*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。  
詳しくはお問い合わせください。

## グループ全体の施工実績（年間）

建設戸数*（木造戸建）	25戸
うち地域材活用の住宅	15戸
うち長期優良住宅	5戸
グループとしての 施工実績	なし 戸
グループとしての地域 型住宅の受注可能戸数	15戸
体制	リフォーム工事を10 戸程度受注（年間）

\*参画する施工業者の建設戸数の合計 45戸

## 連絡窓口

担当者名	村井 淳	メール	at_murai@triton.ocn.ne.jp
電話番号	024-952-6204	FAX	024-952-6274
ホームページ	ブログ開設準備中		
自由記入欄			

## “ふくしま転生”の家

### 地域型復興住宅のイメージと特徴

#### ■そぎ落としにこだわった家づくり

- ・最初に持つ家として余計なものを一切排除した極シンプルなプラン。
- ・建物の設計よりも人生設計の立てやすい住宅（空間）を提供する。

#### ■でも我慢はしない住まいづくり

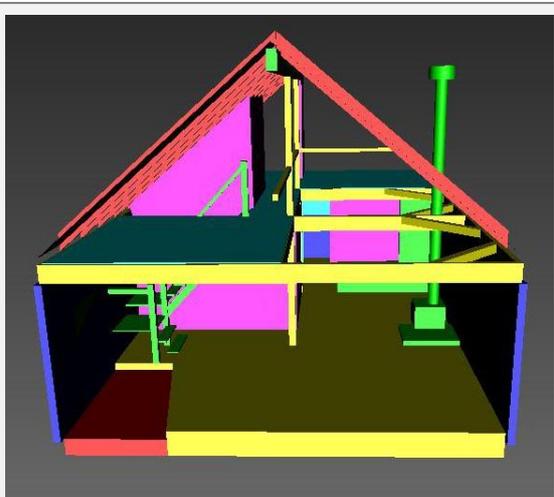
- ・エネルギーコントロールのためのスマート化は外せない！！
- ・建設時に将来必要なスペースはしっかり確保！



スケルトンを透かす



夜の顔



2階増設例



本当にほしいものだけプラン

### 代表的事例の概要

構造	木造軸組工法	床面積	1階：80.08㎡ 2階：13.54㎡(物置)
設計	(有)村井 淳建築設計事務所	施工	直営
施工費	1000万円（設計費用は除く）	備考	2階3間巾有効として140㎡

## 設計方法や地域材活用に関する特徴

### ■ “みえる化”を目指す！！

・空間の構成、2階の増築状態、人生における空間の変遷、エネルギーの利用状態等の“みえる化”を図る。

- ・長期優良住宅設計事務所登録
- ・郡山市役所・住宅改築相談室相談員
- ・震災建築物被災度判定技術者
- ・財、住宅リフォーム紛争処理センター相談員登録等
- ・福島県建築士会会員
- ・福島県設備設計事務所協会会員
- ・全建総連郡山建設組合員

### 主に活用している地域材について

地域材の名称	福島県産材
樹種	杉、アカマツ
産地	福島県会津地域など
認証制度等	—
主に取扱う材種	無垢材、集成材
主に取扱う部材	柱材、梁材、羽柄材、内装材
自由記入欄	地域型復興住宅では残留放射能の安全性が担保された福島県産材を50%以上活用した住宅を供給します。

## 性能・仕様および施工方法等に関する特徴

### ■ 特殊な工法ではなく全ての大工さんが持っている技術で作る

- ・優良住宅の建て方は特殊な技術を求めるものではない。
- ・長期優良住宅づくりのノウハウ、品質はタイミングの良いきちっとした設計事務所の現場のチェックの回数多さにより担保する。

2階は斜め梁と中央部の大筋交いで耐力を確保する

極力、県内産の木材により定尺物による構成で材寸を決めている

形体上、壁と屋根の断熱を途切れなく施行できヒートロスを抑え、省エネを目指す。

室内間仕切り等は出来るだけ家具化し、自由に配置換え出来るものとし、対応する家具を提案する。そのため床は全てフラットにする。

外壁外周で耐震性を十分確保する

基礎は信頼性のあるべた基礎とし設備配管等は全て床下内に露出させメンテナンスのしやすさを目指す。

# “ふくしま転生” チーム

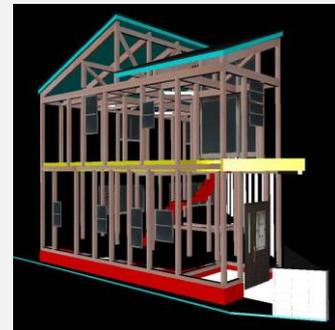
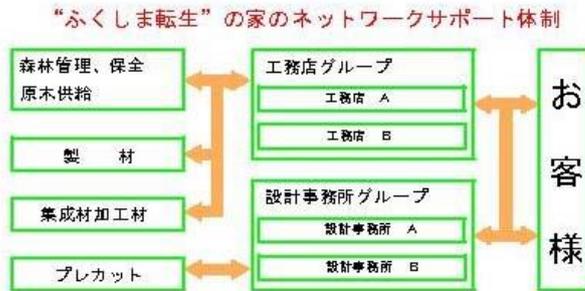
## 地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

### ■ 工務店と設計事務所によるお客様のサポート体制

- 最もお客様が慣れていてとっつき易い体制を整える。最近、製品に対する情報要求は多岐にわたり、その正確さが問われている。それは誰がその点に係るかではなくお客様を含めて情報収集を試み間違いのない選択を目指す。



地域性は外観に求めず、住まわれる方の心に求める

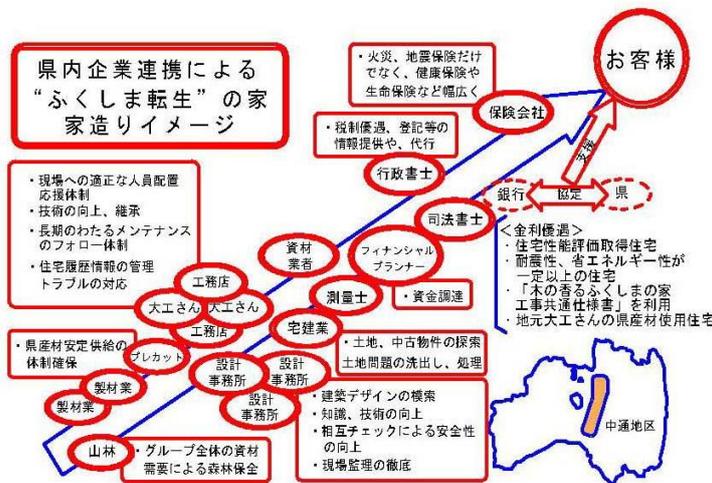


変形土地の場合

## 施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

### ■ どのようにお客様を支えるか？

- “ふくしま転生”の家を展開するための全体像。各分野のエキスパートが責任を持ってお客様のご要望、疑問点を洗い出し解決するよう努力する体制をつくる。



三春町営住宅



物つくりの考え方  
材料はベニヤ製半分、ロスは  
差し込み部分のみ  
折り畳椅子